

## 第20回「戦争と医の倫理」の検証を進める会世話人会 会議報告

- ◇日時 2012年7月1日(日) 10時30分～16時 全体会議
- ◇場所 東京・保団連会議室
- ◇参加者 西山勝夫代表世話人、光石忠敬常任世話人、住江憲勇事務局長、香山リカ、刈田啓史郎、村林彰各世話人  
(事務局) 相場康文、小林耕治、室井正各氏

◇議長 住江憲勇事務局長

### ◇報告及び協議事項

#### 1. 第19回各世話人会(12.5.27) 会議報告の確認について

提出された会議報告を了承。

#### 2. パネル集(案)のまとめについて

##### (1) パネル集(案)の整理と翻訳依頼について

各顧問・世話人にパネル集(案)の検討依頼を行い、パネル集(案)に寄せられた修正意見と対応案、及びパネル集(案)修正意見へのコメント(吉中、西山、末永各氏、事務局)をもとに、各パネル内容の修正作業を行った。

ただし、起案者への修正内容の確認、差し替え資料の補充、及び外部の編集者に校閲を依頼した結果も含めた整理作業が必要なため、その整理作業は、代表世話人・事務局長会議(7/13)に一任した。ほぼ整理ができた段階で、翻訳も依頼することとした。

翻訳については、英訳を常任世話人の小島荘明先生、ドイツ語訳を東北大学の窪俊一先生、中国語・ハンゲル語訳は前回もお願いした北海学園大学院生の張健華先生をお願いすることを確認した。翻訳料は一語訳の場合15万円。複数語訳の場合20万円をお願いする。

##### (2) パネル集の付属資料作成について

ドイツ精神神経学会(DGPPN)の謝罪表明を紹介した日本精神神経学会誌の岩井論文については、日本精神神経学会に転載許可を依頼した結果、同学会より学会誌の抜き刷り印刷(有料買い取り)なら了解との返答が寄せられた。5000部印刷では18万余円の費用がかかることから、パネル集発行予定部数の2000部で再見積もりを依頼することとした。

上記の資料を含めた資料作成が困難となったこともふまえ、収録資料を整理しホームページで閲覧できるよう準備することとした。

#### 3. パネル展示・国際シンポの今後の作業工程表等について

##### (1) パネル展示・国際シンポ関連工程表(案)について

事務局より、作業工程表の案を報告し、その流れに沿って準備を進めることとした。

##### (2) 国際シンポに関するドイツ語通訳の契約について

前回準備で予定した派遣業者(サイマリングル)より、京都大学生協が地元でもあり費用面、対応面でもよいので京都大学生協と契約する。

##### (3) パネル集の作成準備(見積、翻訳、販売の準備など)について

光陽メディアと三恵社に見積もりを取ったが、前者は印刷会社で印刷費用は安い書籍の

販売については別会社を通すことになること。後者は前回依頼した会社で費用は高くなるがネット販売も対応できるので、三恵社に依頼することとした。

#### **(4) チラシの作成と広報の準備について**

前回と同様に5万5千部作成し、関西に重点を置いて活用を依頼することとした。

#### **(5) ドイツ大使館への後援依頼について**

前回は「日独交流 150 周年」の記念事業として認定されたが、この認定は昨年で終了となった。このため、ドイツ大使館として今回の国際シンポジウムに後援していただけるか、打診することとした。

### **4. 次回日本医学会総会、医師会等への対応について**

第 29 回日本医学会総会の井村裕夫会頭宛には、2 月 13 日付けで要請書を郵送したが、現在まで返答は寄せられていない。

このため、医学会関係者への要請については、準備委員長など今後の役員体制もみながら要請の対応方法を検討する。

### **5. その他**

(1) 米国ミネソタ州の法科大学院在学の金子美和氏から、731 部隊の元メンバーの戦後の軌跡（生没年等）について照会が寄せられたが、対応しかねる旨返答することとした。

(2) 次回開催予定 9 月 2 日（日）10：30～16：00 保団連会議室

以上